

2 要求のポイント

次期総合5か年計画の実現に向けて

次期総合5か年計画における「学びと自治の力で拓く新時代」の基本方針に沿って、「次期長野県食と農業農村振興計画」に基づき、経営体の育成と人材の確保、農畜産物の戦略的拡大と、マーケティングによる成長産業としての「次代へつなぐ信州農業」、信州農畜産物などを「信州ふード」として魅力の発信と地消地産による「消費者とつながる信州の食」、共同活動による農村コミュニティ形成や農村ビジネスによる「人と人がつながる信州の農村」の実現に向け、関係部局や地域振興局と連携し、事業を推進します。

次代へつなぐ信州農業

次代を担う経営体の育成と人材の確保

- ◆ 本県農業の持続的な発展を図るため、明確な経営理念を掲げ、稼ぐ農業を実践している農業トップランナーの魅力の中高校生へ発信し、将来の就農につなげるとともに、女性農業者の経営者としての発展や、雇用経営における雇用スキルのアップと、雇用就業者の資質向上を支援します。
- ◆ 地域農業の持続的な発展と農業生産性の向上を図るため、農地中間管理事業を活用し、中核的経営体への農地の集積・集約化や経営の効率化などを支援します。

消費者に愛され信頼される信州農畜産物の生産

- ◆ ICTや作業ロボットなど最先端技術を活用した省力化・低コスト化・高品質化を推進するため、民間企業、大学等と連携した革新的な農業技術の開発及び実用化や、トヨタ式カイゼン手法など民間手法の導入普及を強化します。
- ◆ 本県水田農業の体質を強化するため、地域に適した園芸品目等の導入による経営の複合化の推進と、県産米の高品質化やオリジナル品種の生産拡大、徹底したコスト削減による競争力、ブランド力、収益力の向上を図ります。
- ◆ 園芸品目の“強み”を伸ばし“稼ぐ力”の一層の強化を図るため、果樹オリジナル新品種のプロモーションによるブランド力の強化や、健康長寿県として野菜や果実等の機能性を活かした消費拡大を図るため、農産物の機能分析と情報発信に取り組みます。
- ◆ 国際的な基準に基づく取引の拡大等へ対応できる農業経営体を育成するため、国際水準GAPの実践を推進し、GAP認証の取得を支援します。
- ◆ 農業経営の基盤となる生産条件の改善を進めるため、農業農村整備事業を計画的かつ着実に推進します。

需要を創出するマーケティング

- ◆ 食品産業と連携し、地域内経済循環を通じた農業者の所得確保を図るため、県内食品事業者への県産農産物の原料提供ニーズの把握と、需要に応じた生産出荷体制の構築を推進します。
- ◆ 本県農産物や花き等の継続的な商業ベースの輸出を拡大するため、「長野県農産物等輸出事業者協議会」の海外展開を支援するとともに、海外バイヤーへの本県農産物等の魅力発信を推進します。

消費者とつながる信州の食

- ◆ 県産農畜産物や郷土食、伝統食などの魅力を県民等への理解を促進するため、県内で生産された農畜産物や加工品を「信州ふード」として県民運動を展開するとともに、県外、海外からの観光客に対する認知度向上を図ります。
- ◆ 県内で利用されている食材を外国産・県外産から県産農畜産物へ置き換える「食の地産地産」を進めるため、ホテルや旅館、飲食店、学校給食等における信州産食材の活用促進や農産物直売所の機能強化を推進します。

人と人がつながる信州の農村

- ◆ 農業・農村の多面的機能を維持するため、県民等への多面的機能の重要性の理解促進と、県民等との協働による維持活動の取組を推進します。
- ◆ 農村のコミュニティを維持・強化するため、農村集落が潜在的に持っている地域力を誘引し、地域の創意と工夫による活性化に向けた市町村やJA等の取組を支援します。
- ◆ 農村における自然環境や歴史的な農業資産を活用して地域振興を図るため、施設等の条件整備や地域の体制整備を支援するとともに、情報発信に取り組みます。